■令和６年 12 月 23 日号（第 1912 号）
・港湾局　協働防護計画作成を支援＝検討委立上げ、年度末ガイドライン策定へ
・国交省　浮体式洋上風力官民ＷＧ＝海上施工シナリオの検討開始
・国交省港湾局　海外港湾物流Ｐ協議会＝グリーンの海外展開など
・日本全国みなと便り（32）秋田港湾事務所　荒川圭所長「港を核とした地域経済の活性化を目指して」
・千葉港海岸　海老川水門細部設計手続き＝次年度以降の着工に向け準備
・東京港　10 号地その２築造工事＝ＳＧＭ、軽量土利用
・両津港　フェリーバース改良工事＝船首部の耐震改良基本設計
・山形県　酒田市沖検討部会を開催＝漁業協調・振興策を検討へ
・中部地整ら　浜島港で物資輸送訓練＝民間小型船舶の有効性確認
・北開局　事業審議委員会を開催＝枝幸、函館、瀬棚等５港湾事業
・横浜市　山下ふ頭再開発検討委＝答申後、事業計画案作成へ
・本部港　クルーズバースの災害復旧工事＝拠点形成港は事業者募集中
・博多港　中央航路の浚渫５次・６次＝ＣＯ２排出量削減検証工事
・長崎空港　ＲＥＳＡ用地確保へ捨石工＝嵩上げ継続や西側域の床掘等
・沖縄開建部　事業評価監視委員会を開催＝那覇港国際クルーズ拠点整備等
・四国地整　災害時の小型船活用方策＝海上支援ネットワーク構築へ
・高松港　クルーズバース延伸整備＝来年度の工事着手目指す
・中国地整　事業評価監視委員会開催＝宇品ふ頭再編、出島地区ＣＴ
・愛媛県　東予港脱炭素化推進協＝次エネ受入環境等検討
・沿岸センター　民間技術の評価証交付式＝６年度上期、部分変更２件、更新４件
・港コン協　地整局等へ要望活動展開＝災害対応力の強化等意見交換
・国総研　地震災害テーマに講演会＝能登半島地震から見えた課題
・海上ＧＰＳ機構　横浜でＧＮＳＳ技術講習会＝早川所長がＩＣＴ施工紹介
・五洋建設　洋上風力作業船を建造へ＝ＨＬＶとＣＬＶ、790 億円投資
・ＪＥＲＡ　英ｂｐと新会社設立＝洋上風力事業を統合

■令和６年 12 月 16 日号（第 1911 号）
・港湾局　メタノールバンカリング＝受入拠点の安全対策、施設検討
・港湾局　ＣＮＰ形成検討会を開催＝計画促進へロードマップ作成
・港湾局　26 年振り発注標準見直し＝Ｂ、Ｃランク上限を引上げ
・港湾談話室　受賞者お祝いの会・懇話会＝稲田港湾局長が感謝を伝える
・日本全国みなと便り（31）熊本港湾・空港整備事務所　宮本由郎所長「あらたな風を活かし　さらなる飛躍を目指す熊本のみなと」
・輪島港　本格復旧に向け手続き開始＝泊地浚渫と付帯工を一体実施

・四日市港　脱炭素化推進地区を指定＝半導体関係危険物倉庫も立地
・穴水港　物揚げ場等の災害復旧工事＝水深４ｍ延長１８７ｍ改良
・新潟技調　自動係留装置技術委開催＝ＲＯＲＯ船で実証試験実施
・八戸港・空事務所　種市高校生と現場見学会＝潜水士の重要性伝える
・酒田北港　開港 50 周年記念式典＝さらなる発展を祈念
・横浜市　自立型水素燃料電池システム＝Ｙ―ＣＣでの実証終了
・近畿地整　事業評価監視委員会開催＝大阪港北港南、舞鶴港、日高港
・近畿地整　海上コンテナ鉄道輸送実証＝ＪＲ貨物、金沢～大阪で初
・徳島小松島港　港湾脱炭素化推進計画＝30 年のＣＯ２約 4.6 万ｔに
・福岡市港湾空港局　博多港セミナーin 台湾＝九州と台湾間の物流促進
・業務入札結果（令和６年 10 月分）
・洋上風力　第２Ｒ３海域の計画認定＝秋田、新潟、長崎の公募占用計画
・横浜でＤＭ工法国際会議　港空研、ＣＤＭ研ら主催＝国内外技術者 100 名が参加
・富士通　出向起業「ブルアブル」を設立＝ブルーカーボン創出～申請
・阪神国際港湾　全国大会で木戸社長が要望＝神戸港・大阪港の機能拡充
・岸本和歌山県知事　半島防災の重要性指摘＝港湾づくり全国大会で要望
・港空技術振興会　「官民技術交流会」開催＝地震防災研究テーマにプレゼン
・東京都　オリエンタルランドと協定＝東京港をクルーズ船の拠点に
・関電・ＲＷＥ　檜山地方洋上風力＝環境配慮書を縦覧

■令和 6 年 12 月 9 日号（第 1910 号）
・港湾協会ら　港づくり全国大会を開催＝港湾の整備・振興を国に要望
・自民党港湾議連　財務省主計局長に緊急要望＝森山会長ら 14 名が駆付け
・国交省　６年度補正予算 2.2 兆円＝港湾局関係は 1089 億円
・港湾局　循環経済拠点港湾検討＝来年度ガイドライン策定へ
・日本全国みなと便り（30）東京港湾事務所　加藤　絵万所長「首都圏の暮らしを支える東京港の整備」
・北海道港湾協会　青山会長らが国交省に要望＝北海道の港湾整備予算確保
・茶谷七尾市長　七尾港の復旧復興支援に感謝＝水深 13m岸壁早期実現等要望
・菅原男鹿市長　洋上風力発電支援基地＝船川港の優位性等強調
・衣浦港　臨港道路の路線測量＝ポーアイ～碧南区間
・横浜市港湾審議会を開催＝軽易変更、本牧９号岸壁廃止など
・工事入札結果（令和６年 10 月契約分）
・大阪湾岸道西伸部　港湾工事は約 2000 億円＝７年度からの現地着工見込む
・神戸港　ＰＣ18 地区液状化対策＝１レーン追加し公告手続き
・近畿地整・埋浚協　若手技術者合同勉強会＝明石高専２年生と安全パト

・宇野港湾事務所　「命のみなとＮＷ」訓練＝笠岡市と連携、大飛島で実施
・韓国で下関港釜山セミナー＝前田市長が下関港魅力発信
・佐賀県　唐津港、伊万里港脱炭素化＝協議会設置、初会合開催
・高知港　脱炭素化推進協初会合＝７年度策定に向け議論開始
・兵庫県　播磨臨海地域ＣＮ推進協＝最終案取りまとめ
・沿岸センター　コースタル・テクノ 2024＝自動係留装置等９研究報告
・港湾局　アイコン・インフラＤＸ＝第１回推進委員会を開催
・OCDI・JOPCA ら　ＪＩＣＡ研修員を歓迎＝港湾保安能力向上コース
・国交省　第 60 回政策評価会を開催＝「みなとオアシス」中間報告
・宮武海事局長　船舶へのモーダルシフト＝関係局と連携し取組強化
・海事局　ＮＸ補助金（第２次）＝明光汽船の船舶安全管理システム
・洋上風力　岩宇・南後志地区沖協議会＝取りまとめ骨子案示す
・北海道電力　檜山沖洋上風力アセス＝114 万 KW、配慮書縦覧
・東洋建設　アマモ種まきイベント＝東京湾ＵＭＩプロ、日テレと合同開催
・三井Ｅ＆Ｓ　ロングビーチ港へＲＴＧ＝ニアゼロエミ型８基受注

■令和 6 年 12 月 2 日号（第 1909 号）
自民党港湾議連　７年度予算に向け総会開催＝経済と生活を支える港湾決議
港湾局　水素燃料荷役機械を促進＝検討会立上げ、ガイドライン策定へ
港湾局　ＣＴ情報セキュリティ＝第５回検討会、経済安保法省令案示す
しげもとまもるが語る（２）わたしたちが運ぶのは…
海事局　クルーズ等訪日旅客受入れ＝６年度第３回公募
港湾統計速報（６年９月分）
久慈港　年度内に長期構想策定へ＝浮体式洋上風力発電等検討
千葉港海岸　擁壁、護岸改良築造を促進＝水門、排水機場の設計も実施
北陸地域国際物流戦略チーム　外貿コンテナ代替輸送訓練＝埼玉で５年ぶり対面開催
室蘭港利用促進懇談会　都内で開催＝青山市長が利用呼掛け
茨城県　茨城空港のあり方検討会＝増便、旅客増へ容量確保
伏木富山港　伏木地区右岸５号物揚場＝権限代行で災害復旧工事
名港管組　新宝緑地公園跡地を売却＝7.3ha、1/24 まで応募登録受付
二交会　第 56 回定期総会開催＝新会長に髙田氏が就任
横浜市・ＹＫＩＰ　横浜川崎港湾セミナー＝仙台市で開催
徳山下松港　国際バルク戦略港湾整備＝徳山地区では耐震岸壁築造促進
北九州港　新門司沖土砂処分場Ⅱ期＝南護岸、一部を残し６年度概成
下関港　本港外航ＲＯＲＯバース＝岸壁本体の改良築造工事へ
熊本県　八代港脱炭素化推進協＝計画素案まとめ年内策定へ

埋浚協会　港湾局長と意見交換会開催＝休日確保大幅改善も課題山積
港コン協　港湾局、航空局に要望書＝協力関係の強化等を確認
マリーナ・ビーチ協　創立50周年記念式典開催＝マリーナ＆ビーチの交流強化
土木学会　110周年記念式典＝「土木の核とひろがり」
高専機構　３校拠点に洋上風力人材＝谷口理事長「スピード感と連携大切」
日本海事協会　学生のドローン教育支援＝検定協会と業務提携
五洋建設　作業船にバイオ燃料使用＝ＮＸ商事から、ＣＯ２削減
東亜建設工業　中間決算、過去最高益＝通期も大幅上方修正

■令和6年11月25日号（第1908号）
・国土交通省　中野大臣が専門紙と会見＝港湾の機能強化、物流政策等
・新副大臣・大臣政務官
・港湾の維持管理　点検診断ガイドライン改訂へ＝ＩＣＴ活用の新技術導入も
・北東アジア港湾局長会議　中国河北省で開催＝安部技術参事官が参加
・日本全国みなと便り（29）浦賀港湾事務所　大黒 俊一所長「日本の製鉄業と和食文化を支えるみなと」
・港湾局　国際クルーズ受入高度化＝６年度第４回公募開始
・四日市商工会　国交省、財務省に要望活動＝霞ＣＴ、直轄海岸保全施設
・北陸地整　飯田港東防波堤復旧技術検討＝被災原因解明、復旧方針探る
・紋別港屋根付き岸壁が完成＝水産物輸出拡大に大きな期待
・石狩湾新港　港湾脱炭素化推進協議会＝計画素案の意見交換
・宮城県　仙台塩釜港脱炭素化推進協＝部会と連携し進捗管理
・千葉港ポートセミナー　都内で開催＝荷主、物流企業150名参加
・富山県　伏木富山港セミナーin東京＝ＹＫＫ、ＯＯＣＬらが講演
・和歌山下津港海南地区　船尾南護岸第２工区手続き＝専用桟橋の背後に鋼管矢板
・和歌山下津港海岸　藤白第３工区築造工事＝第４四半期に入札予定
・川内港　唐浜地区国際物流ターミナル＝岸壁築造へケーソン据付工事
・鹿児島港　鴨池中央港区線橋梁＝Ｐ９・10実施設計調査へ
・高松港・空　備讃瀬戸航路附帯施設＝生物共生型構造を検討
・愛媛県　三島川之江港脱炭素化推進協＝2030年のＣＯ２約257万ｔに
・業務入札結果（令和６年９月契約分）
・関東地整ら　首都直下地震防災訓練実施＝東扇島防災拠点、13機関・３団体、320名参加
・ＣＮＡＣ　全国フォーラムin横浜＝「ハマの海の未来」を語る
・埋浚協ら４団体　港湾工事安全衛生環境研修会＝「無事故・無災害達成を」
・関東地整　港湾空港研究セミナー＝学生11名が本牧Ｄ５現場見学
・ＪＢＥ　Ｊブルークレジット＝ＧＸ－ＥＴＳで利用可能に

・中部国際空港　2024 年度中間決算＝通期見通しを上方修正
・東洋建設顧問　磯部氏が海岸工学論文賞＝傾斜面での波の解析
・東洋建設技研　トークサロンを開催＝森阪三重大教授が講演
・「海底トンネルの造り方」下石誠著（五洋建設顧問）＝日経ＢＰより発刊

■令和 6 年 11 月 18 日号（第 1907 号）
・港湾局　水素等受入の港湾環境整備＝Ｇライン策定に向け議論開始
・中野国土交通大臣就任会見＝国土強靭化や担い手の確保
・ＲＳＯ　第２回フォーラム開催＝臨海工業地帯の新たな姿
・みなと総研　全国海の再生・ブルーインフラ賞＝応募受付中
・日本全国みなと便り（28）高知港湾・空港整備事務所　野本啓介所長「粘り強い構造の防波堤で市民の貴重な生命と財産を守る」
・管理組合　四日市港臨港道路幹線＝第２回検討会、４ルート対象に意見交換
・和倉港・和倉港海岸　温泉街前面の護岸改良＝直轄代行、東工区、西工区の２件工事
・千葉港・木更津港　第３回港湾脱炭素化推進協＝39 の促進事業、計画案まとめ・釧路港土砂処分場２期護岸整備＝今年度で西側半分の受入整う
・仙台塩釜港　石巻港区の水深 12m岸壁＝ケーソン３函製作工事
・小松空港　エプロン改良工事＝老朽化対策事業
・東京都　令和７年度予算要求概要＝Ｙ３など東京港整備に 851 億円
・尼西芦港　複合一貫輸送ターミナル整備＝港湾計画改訂、末広～東海岸町臨港道路等
・油津港　水深 12m岸壁の延伸事業＝今年度から地盤改良工事
・広島県　出島埋立地、松田に分譲＝東南アジア航路誘致に寄与
・福良港湾口防波堤・防潮堤　県・市が完成式典＝西日本初、浮上式フラップゲート
・八代港　加賀島地区の 12m岸壁＝水深 14m航路促進を要望
・呉港　港湾脱炭素化推進協立上げ＝Ｒ７末計画策定へ初会合
・博多港･空事務所　空港建設発生土受入地募集＝今月より来年３月末まで
・不動テトラ　水中構造物点検手法開発＝洋上風力発電基礎に活用期待
・洋上風力　檜山沖第３回協議会開催＝取りまとめたたき台示す
・洋上風力　村上市・胎内市沖協議会＝三井物産が事業概要説明
・みなとオアシス　Sea 級グルメ全国大会 in 境港＝境夢みなとターミナル 5.6 万人で賑わう
・底浄協　技術セミナーを開催＝国総研岡田室長ら講演
・マリーナ・ビーチ協　50 周年記念論文賞発表＝20 日の記念式典で表彰
・宮武海事局長　内航ＣＮ検討会所感等＝40 年度の C02 削減目標
・ＪＯＧＭＥＣ　ＩＥＦと覚書締結＝ＣＣＵＳ、クリーン水素
・五洋建設　第２四半期決算概要＝大型港湾工事等で売上増

・カナデビア　２０２４年度中間決算＝通期売上を上方修正

■令和６年 11 月 11 日号（第 1906 号）
・港湾分科会　川崎港、尼西芦屋港の改訂＝洋上風力取組動向も報告
・2024 年濱口梧陵国際賞　髙山教授ら日・印・英が受賞＝津波・高潮等の防災・減災に貢献
・国交省　蘭と港湾分野で協力覚書＝自動化、サイバーセキュリティ等
・日本全国みなと便り(27) 塩釜港湾・空港整備事務所　宮原史所長「東北を支える国際物流・観光拠点」
・北陸地整　ＷＴＯ３件の復旧工に着手＝金沢港、七尾港の岸壁改良
・酒田港湾事務所　遊佐町と災害協定締結＝海上から水・食料補給、救援
・北陸地整　輪島港復旧復興プラン検討会＝多層係留対策など中長期で
・小名浜港　新たな長期構想へ方向性＝滞船の解消やＣＮ対応整備等
・中部国際空港　環境影響評価書へ大臣意見＝鳥類影響回避、ＧＨＧ削減等
・工事入札結果（令和６年９月契約分）
・近畿地整ら　大規模津波防災総合訓練＝南海トラフ地震連動、大津波想定
・大分県　津留地区護岸改良が進捗＝今後、乙津地区の対応検討
・九州地整　事業評価監視委員会開催＝大分港大在西、下関港海岸
・須崎港　大峰地区の水深 13m岸壁＝土質調査でコスト縮減検討
・阪神国際港湾　設立 10 周年記念式典開催＝木戸社長「次の 10 年へ挑戦」
・下関港東京セミナー＝前田市長が利用呼掛け
・国総研 宮島副所長に聞く＝大規模災害への対応力強化
・ＰＩＡＮＣ　アジアセミナー2024＝沿岸域の軟弱地盤対策
・海上ＧＰＳ機構　基準局システムの普及総ｋシン＝受信機の無料貸し出しなど
・環境省　洋上風力モニタリング＝７項目の具体的内容示し議論
・洋上風力　男鹿市・潟上市・秋田市沖＝ＪＥＲＡらが事業計画説明
・損保ジャパンら　蓄電池設備のリスク評価＝洋上風力安定運営に寄与
・ケイライン・ウィンド　秋田南部沖浮体式実証＝ＪＭＵから係留施工検討受注
・東京港　令和６年貨物量速報＝外・内貿とも前年比増

■令和６年 11 月４日号（第 1905 号）
・国交省港湾局　港湾の防災拠点形成＝海上支援ネットワーク取組強化
・【新連載】しげもとまもるが語る①みなとへの想い
・港湾局　みなとＰＰＰ意見交換会＝福岡で開催、アイデア共有
・秋の叙勲　瑞中に松本氏、山縣氏＝瑞小は小谷氏ら５名受章
・国交省　海の次世代モビリティ＝実証事業４件を採択

・日本全国みなと便り（26）長崎港湾・空港整備事務所　松延嘉國所長「観光振興や離島の暮らしを支える長崎のみなと」
・新潟港　洋上風力基地港湾整備＝地盤改良（その４）公告
・名古屋港　新土砂処分場埋立護岸整備＝内側中仕切堤基礎や被覆工
・清水港　新興津耐震強化岸壁第３Ｂ＝ケーソン製作（２函）工事
・佐渡島命のみなとＮＷ　小木港で防災訓練＝孤立集落想定、「佐渡モデル」に
・千葉県　木更津港長期構想案公表＝富津に自動車輸送拠点等
・岩手県　宮古港・大船渡港脱炭素＝年度内計画策定へ企業ヒア
・愛知県　中部臨空都市空港対岸部＝港湾ゾーン分譲受付開始
・那覇港　新港ＲＯＲＯふ頭の再編＝地盤改良、ケーソン製作開始
・中城湾港　新港地区国際物流Ｔ整備＝作業船航路浚渫工事実施へ
・鳥取県　境港新規岸壁の着工要望＝鳥取県では防波堤の延伸等
・「世界津波の日」２０２４　高校生サミット in 熊本＝八代港で防災訓練体験
・みやざき港湾セミナー　都内で開催＝宮崎、細島、油津港の利用促進
・徳島県　浅川港海岸で水門整備＝日和佐港で岸壁耐震化
・尾道糸崎港　干潟造成の潜堤築造工＝被覆に天然・人工石利用
・広島技調　民間技術説明会（11 月 18 日）
・日港連　第１１２回セミナー開催＝学生の就活事情や海岸管理
・中部地整・愛知県　伊勢湾・三河湾再生シンポ＝漁業関係者ら２００名が参加
・ＪＯＧＭＥＣ　北海道連絡事務所を開設＝道内洋上風力の調査推進
・パシフィックコンサルタンツ　敦賀港自動係留装置実証＝省力化、船舶動揺量低減
・国交省・環境省　メタノール燃料導入支援＝海事分野の脱炭素化促進
・あおみ建設　６年度施工技術報告会＝施工現場の建設ＤＸ等
・港湾統計速報（令和６年８月分）
・東亜建設工業人事（11 月１日）

■令和 6 年 10 月 28 日号（第 1904 号）
・全国港湾知事協　６年度意見交換会を開催＝港湾の整備・振興決議、要望
・港湾の整備・振興に関する要望
・航空局　空港技術懇話会を開催＝基本計画を見直しへ
・日本全国みなと便り（25）三河港湾事務所　東野隆之所長「地域の産業を支える港湾整備を推進」
・川崎港　東扇島～水江町臨港道路＝事業評価委員会で継続評価
・酒田港　基地港湾整備が本格化＝鋼管矢板製作・打設工等
・青森港洋上風力　油川地区の護岸撤去契約＝来年度は岸壁整備へ準備
・苫小牧港　周文ふ頭複合一貫輸送Ｔ＝今後は陸側地盤改良を予定

・三河港湾事務所　倉舞港で海上輸送訓練＝災害時の港の有効性確認
・酒田港　古湊３号の増深・延伸要望＝バイオ燃料輸入、クルーズ寄港
・東京港　水素燃料ＲＴＧで荷役＝日本初、大井コンテナＴ
・広島港　出島ＣＴ、延伸事業が進捗＝ケーソン据付完了、裏込等へ
・長崎港・空事務所　比田勝港「釣り文化モデル」指定証交付式、地域振興に期待
・岩国臨港道路　室の木地区高架橋整備＝修正設計業務の手続きへ
・志布志港　作業船への陸電供給開始＝ＣＯ２削減へ全国初の取組
・九州地整局　有明海で漂流物を回収＝漁業者、埋浚協会と連携
・姫路・東播磨港　港湾脱炭素化推進計画案＝水素等ＳＣ拠点形成
・広島県東部港湾セミナー＝福山港の紹介と講演２題
・日港連　港湾局、航空局に要望活動＝作業船や人材確保で意見交換
・港湾局　繋離船作業の安全検討会＝技術基準、防舷材ＧＬ対応等
・港湾局　２０２３年コンテナ取扱貨物量（速報値）＝2,176 万ＴＥＵ、昨年度から微減
・国総研　東京湾シンポジウムを開催＝生息場のネットワーク研究など
・港湾空港技術振興会　若手技術者が意見交＝40 名参加、施設見学も
・東洋建設　海底ケーブル埋設機調達＝洋上風力事業に投入
・鉄スクラップ拠点＝東京製鉄が船橋に開設

■令和 6 年 10 月 21 日号（第 1903 号）
・国交省港湾局　サーキュラー港湾政策＝11 月に検討会立上げ議論
・航空局　空港脱炭素化推進計画＝北海道５空港を認定
・東京湾再生官民フォーラム　第 12 回通常総会開催＝新会長に佐々木氏を選任
・国際クルーズ旅客受入高度化（６年度第３回）＝４事業の採択決定
・日本全国みなと便り（24）岩田真苫小牧港湾事務所長「地域の強みを活かし、
　更なる発展を目指して」
・埋浚協会　関東地整と意見交換会＝上限規制遵守のための課題等共有
・北陸地整　若手技術者発表会開催＝官民が取組成果を発表
・石狩湾新港　水深 12m国際物流Ｔ＝岸壁本体の鋼管矢板打設進む
・輪島港　予備費充当し泊地浚渫へ＝大雨災害からの復旧工事
・仙台技調　東北港湾の技術ビジョン＝来年２月頃策定へ骨子案修正
・関東地整　ＣＯＮＰＡＳ試験運用＝本牧ＢＣ１・２、Ｄ１・４
・東北地整ら　工事安全施工推進大会＝現場代理人ら表彰
・関東地整ら　港湾空港技術講演会（11 月 11 日、横浜第二庁舎）＝最新研究・技術開発紹介
・八代港　大築島土砂処分場の整備＝Ｄ護岸裏込工事を公告
・大分空港　誘導路改良実施設計＝延長約５３０ｍ区間が対象

・大分空港　排水改良の基本設計＝降雨量の増加に対応
・境港　防波堤⑵の藻場創出＝港湾の生物共生方策検討
・堺泉北・細島・宮崎港　パートナー港提携覚書締結＝３港の貨物量拡大へ連携
・近畿地整　深日洲本航路運航実験＝中間報告、乗客数微増
・業務入札結果（令和６年８月契約分）
・埋浚協会　本牧で会長安全パトロール＝清水会長「生産性向上が安全に繋がる」
・海事局　ＭＥＰＣ82 で条約改正案＝来春の承認へ各国意見集約
・ＯＣＤＩ・ＪＯＰＣＡら　ＪＩＣＡ研修員を歓迎＝港湾維持管理計画テーマ
・日建連　海洋安全部会研修会開催＝事故防止対策やＩＣＴ施工等
・ＳＣＯＰＥ　第８回洋上風力セミナー＝浮体式の課題や企業の取組等
・志布志港湾事務所　バーチャルツアー開催＝建設現場のＶＲ体験など
・ＪＭＵ　秋田県南部沖浮体式実証＝ＧＩ基金、研究開発開始

■令和 6 年 10 月 14 日号（第 1902 号）
・国交省港湾局　ＣＮＰ認証導入に向け検討＝中小規模ターミナルで試行へ
・埋浚協会　地整等と意見交換開始＝時間外労働、担い手確保等協議
・日本全国みなと便り（23）宇野港湾事務所　笹岡 実也所長「晴れの国　おかやまの物流・人流を支えるみなと」
・「ＩＰＢＣ2024」開催　ブルーカーボン推進＝港湾局中嶋室長が取組紹介
・港湾局　みなとオアシスそうま港　165 箇所目の登録
・みなとＳＤＧｓパートナー　新たに 16 者登録＝第 10 回登録申請受付中
・仙台塩釜港　仙台港区コンテナ強化＝石巻港区で水深 12m岸壁
・山本東北部長　洋上風力発電基地港湾促進＝港湾整備を通じ地域活性化
・留萌港湾事務所　羽幌町で災害対策支援訓練＝命のみなとネットワーク
・清水港・御前崎港　ＲＯＲＯ船の活用方策等＝物流機能高度化を検討
・名古屋港　中航路浚渫土排送＝金城ふ頭の埋立土に
・北陸地整　和倉温泉護岸復旧会議＝民有護岸の方針とりまとめ
・東北地整　災害時の事業継続力認定＝新規２社、更新６社
・横浜港統計速報（６年上半期）＝外貿コンテナが好調
・大阪港　来年度からポンプ浚渫予定＝主航路の水深 16m幅員５６０ｍ
・神戸港　六甲アイランド荷捌き地液状化対策＝今後はＲＴＧ走行路区間検討
・高松空港　ＲＥＳＡ整備へ準備工＝７年度からの土木工事検討
・高知空港　排水施設の改良工事へ＝近年の雨量増加に対応
・松山港　推進 13m岸壁築造その２＝ドルフィン上部工や裏込工
・高松港　朝日地区フェリーＴ＝岸壁、排水路の実施設計
・那覇港管理組合　海上交通の実現可能性＝12 月に運航実験、事業者公募

・工事入札結果（令和６年８月契約分）
・埋浚協会　新潟港で本部長パトロール＝洋上風力基地の地盤改良工事
・ＷＩＮＤ　ＥＸＰＯ2024　10 月 2～4 日開催＝各社が新技術紹介
・海産研　第 431 回定例研究会＝吉田北拓専務が講演
・苫小牧港管組　最先端技術の説明会開催＝世界港湾のＤＸ・自動化同行
・東洋建設　無線切離し装置「ＭＩＸ」＝玉外し作業を無人化
・東洋・カナデビア・ＩＨＩインフラ　フィリピン河川改修受注＝マリキナ川パッケージ１工区
・国交省　モーダルシフト等推進＝７件の補助金交付決定
・ヤンマーパワーテクノ　　ゼロエミ船実証に成功＝水素４ストロークエンジン
・大船渡港セミナー（10 月 17 日、大洲市）＝東北地整・鈴与が講演
・あおみ建設人事（10 月 1 日）

■令和 6 年 10 月 7 日号（第 1901 号）
・国交省港湾局　メタノールバンカリング＝拠点のあり方を官民で検討開始
・港湾局　低炭素型作業船の効果検証＝10 月以降公告の直轄港湾工事
・洋上風力　３区域を準備区域に指定＝秋田市沖、和歌山県沖東側・西側
・国交省ら　ゼロエミ船等の建造促進＝補助事業公募開始
・港湾局人事（10 月 1 日）　国総研副所長に宮島氏、石原神戸港所長
・港湾統計速報（令和６年７月分）
・西村東北局長　大震災からの復興・再生＝道路と港湾連携で競争力強化
・千葉港　中央地区防波堤で再設計＝施工性の検討、取付部修正
・東京湾大感謝祭 2024　横浜市役所アトリウム＝「ブルーカーボンで脱炭素」
・東京港　10 号地その２岸壁＝築造工事を予定
・北陸地整　新潟空港等脱炭素化検討＝港連携によるＣＮ推進へ
・横浜技調　第 16 回技術交流会を開催＝脱炭素、衛星データ活用等
・関東地整　東京湾底質評価手法検討＝有害プランクトン対応等
・細島港　水深９ｍＲＯＲＯバース＝地盤改良契約、床掘工手続き
・北九州空港　滑走路延長へ用地造成進む＝最初の舗装工事も契約へ
・苅田港新松山 12m国際物流Ｔ＝早期供用に向け岸壁、浚渫工事
・高知龍馬空港　新ターミナルの設計変更＝必要面積再検討、８年度供用へ
・志布志港　釣り文化指定証交付式＝１日釣り開放ＤＡＹ開催
・下関港脱炭素化推進協　初会合開催＝年度内に計画取りまとめ
・境港　農水産物の輸出促進＝11 月に冷凍・冷蔵品混載試験
・神戸港　ＣＯＮＰＡＳ運用開始＝ＰＣ18ＣＴターミナル
・九州防衛局　馬毛島自衛隊施設＝工期遅れ、12 年３月完成

・航空インフラ国際展開協議会＝第 12 回総会開催し意見交換
・成田空港　空港施設機能強化へ検討会＝東アジアハブ空港への取組
・宮武海事局長　ＭＥＰＣへの政府方針等＝日本の海運・造船念頭に
・松本さゆり主査　大深度無人探査機開発を提言＝文科省海洋開発分科会委員会
・埋浚協会　６年度港湾技術報告会＝ＤＸ推進や生産性向上等
・土木学会　６年度選奨土木遺産＝港大橋など 14 件認定
・東洋建設　自航式ケーブル敷設船＝ルーマニアで起工式
・横浜港　メタノールバンカリング＝ＭＣ４でシミュレーション
・東洋建設ら　藻礁ブロック海域実証試験＝ＮＥＤＯ事業、石炭灰活用
・アモジー社　アンモニア燃料船＝航行実験に成功
・日立造船が社名変更「カナデビア」（10 月 1 日）
・東洋建設人事・機構改革（10 月 1 日）

■令和 6 年 9 月 30 日号（第 1900 号）
・稲田局長が会見　国際戦略港湾政策を推進＝国際集貨、ターミナル自動化など
・港湾局　クルーズ旅客受入高度化＝第２回検討会、ガイドライン骨子案示す
・日本港運協会　しげもとまもる氏を推薦＝来夏の参院選、職域代表
・日本全国みなと便り（21）唐津港湾事務所　橋本順二所長「西九州の物流、観光拠点を目指す佐賀のみなと」
・東京国際空港　鉄道アクセス整備始まる＝技術協力２件も今後工事契約
・名古屋港　中空沖新土砂処分場整備＝次工区の実施設計を契約
・関東地整　館山港が釣り文化振興モデル＝管内初指定、夕日桟橋で交付式
・金沢港　浚渫土砂利活用検討業務＝海洋環境の保全・再生、創出
・室蘭港　釣り文化振興モデル港＝一部エリアの釣り場所開放へ
・関東地整　次世代燃料バンカリング＝拠点形成へ検討会立上げ
・横浜技調　「潮彩の渚」で夏休み体験＝外来海洋生物やアサリ調査
・小名浜港　津波・高潮影響評価検討＝気候変動踏まえた予測等
・九州地整　３港湾事業を再評価、継続へ＝志布志港、北九州港、苅田港
・高松港空　備讃瀬戸航路附帯施設設計＝坂出港総社地区処分場護岸
・大阪湾岸道路西伸部　第１回連絡調整会議開催＝主塔基礎を載荷試験で確認中
・徳島小松島港　浚渫土砂活用技術の検討＝カルシア土活用で生物と共生
・四国地整　災害時の小型船活用＝マリーナとの連携等検討
・高松技調　赤石岸壁護岸断面検討＝岸壁端部とエプロン接続部
・尾鷲港　港湾脱炭素化推進協議会＝漁船の燃料転換等
・那覇港　みなと緑地ＰＰＰ＝管理組合が導入可能性調査
・神戸市・ＴＯＮ　海洋産業振興セミナー＝ゼロエミ船等テーマ

・ＳＣＯＰＥ　６年度広島県内港湾視察会＝福山港ふ頭再編改良事業等
・内閣府　第２回ＡＵＶ官民ＰＦ＝洋上風力ＷＧ設置、具体検討へ
・アルバトロスら　大型浮体式垂直軸型風車＝ＮＥＤＯ事業で実現性検証
・サンダーバード　港湾の電化事業に参入＝世界大手カボテックと連携
・東京都　空港臨海部の水素活用＝日本空港ビルデングらとＦＳ
・東京港　オフピーク搬出入＝クボタら　モデル事業開始
・苫小牧港　バイオ混合燃料供給実証＝試験運航終え実用化へ前進
・航空局　空港脱炭素化推進事業＝補助金３次募集開始
・商船三井　アンモニアＳＴＳ＝豪ダンピア沖で実証
・商船三井ら　液化ＣＯ２輸送船＝ＡｉＰを取得
・ＳＣＯＰＥ　洋上風力セミナー開催＝10 月９日、ＷＥＢ方式

■令和 6 年 9 月 16 日号（第 1899 号）
・国交省港湾局　重要港湾管理者等主幹課長会議開催＝防災、協働防護、人手不足対策等
・堂故副大臣　シンガポール・ベトナム訪問＝港湾等インフラ案件トップセールス
・港湾局　日米共催で机上演習＝サイバーセキュリティ対策
・日本全国みなと便り（20）東京空港整備事務所 森弘継所長「羽田空港の未来を支えるインフラ整備」
・航空局　空港脱炭素化計画認定＝岡山空港・岡南飛行場
・港湾局人事（９月 15 日）
・早川京浜港所長　国際ＣＴ戦略港の機能強化＝自然災害に対応した港づくり
・金沢港・空　災害復旧工事２件を公告＝宇出津港 14 号岸壁は新たな鋼矢板
・飯田港災害復旧工＝水深４・５ｍ、軽量土に置換
・田子の浦港　港湾脱炭素化推進協＝静岡県が初会合開催
・新潟港　東港臨港鉄道整備検討＝ＣＴ周辺への影響等調査
・業務入札結果（６年７月契約分）
・八代港　大築島土砂処分場が進捗＝今年度に中仕切堤築造完了
・鹿児島空港　地下道の改良工事手続き中＝航空機の大型化に対応し強化
・国交省港湾局　陸電供給政策を強化＝福岡市が定期フェリー向け
・和歌山下津港海岸　藤白第２工区詳細設計＝６号桟橋部、７号桟橋部
・神戸港　荷さばき地耐震改良工＝ＰＣ18 背後予定、液状化対策
・高知港空事務所　生物共生考慮の港湾整備＝須崎、高知港でモニタリング
・平良港　みなとＰＰＰで緑地整備＝宮古島市が事業者公募開始
・港空研　「Ｅｃｏ ＰＡＲＩ」を開発＝簡単操作で沿岸域の水環境把握
・圧入締固研究機構社員総会開催＝新たにＳＤＰ工法研が参加
・酒田港　洋上風力基地港湾着工式典＝地域経済発展に大きな期待

・国交省居合道部　神田明神で演武奉納＝創部 40 年の祝賀会も開催
・いであ　ＣＮＰ形成計画を支援＝石垣港の削減計画策定
・響灘洋上風力基地港湾　埠頭賃貸借契約を締結＝事業者が 10 月から使用へ
・東洋建設　初のテレビＣＭ放映＝若手社員が企画・主演
・第 25 回新潟技調講演会＝９月 26 日開催

■令和６年９月９日号（第 1898 号）
・自民党港湾議連　概算要求テーマに総会＝強靭な国土造りに向け議論
・航空局概算要求　空港整備勘定 3947 億円＝能登空港教訓に防災・減災等
・国交省　浮体式洋上風力官民Ｆ＝今後の取組方針まとめ
・港湾局　７年度要求の税制改正＝民有護岸の改良促進等
・港湾統計速報＝令和６年６月分
・日本全国みなと便り（19）室蘭港湾事務所　中島秀行所長「鉄のまち室蘭から新たな賑わいとエネルギーの創出へ」
・青森港　長期構想を年度内に策定＝沖舘ＲＯＲＯ・バルクＴ整備等
・新潟港セミナーを開催＝花角知事がトップセールス
・中部空港　７年度に代替滑走路着手＝国が９億円を無利子貸付
・北開局、稚内市ら　稚内港で総合防災訓練＝関係機関の連携で大規模災害時対応
・東京湾大感謝祭 2024　9 月 28 日・29 日、横浜市役所アトリウム
・ザ・シンポジウムみなと『紋別港の将来を考える』＝9 月 26 日、紋別市文化会館
・中部地整　研究成果発表会＝9 月 12、13 日
・堺泉北港　汐見沖国際物流ターミナル＝上部工整備の段階へと進む
・福山港　箕島地区の水深 12m岸壁＝先行区画の早期供用へ取組
・苫口博多港所長　ＲＯＲＯ機能の強化等＝福岡増設滑走路は最終仕上げ
・阪神国際港湾　日本諸港利用促進事業＝薩摩川内港を追加
・山口県　港湾脱炭素化推進協＝宇部港・小野田港
・工事入札結果（令和６年７月分）
・国総研　係留施設の新耐震設計法＝ブルーインフラの新たな評価手法
・海事局　７年度概算要求 99.3 億円＝造船ＤＸ、次エネ環境整備等
・宮武海事局長が会見　来年度予算概算方針等＝海事産業の競争力強化など
・東洋建設　東京湾でこども特別見学会＝マリコンの仕事や港の役割を紹介
・東亜建設工業　シンガポール・トゥアス地区工事受注＝第１期最終部、26 年後半完成予定
・大林組　ＴＬＰ型浮体の実証開始＝日本初、青森県沖合で挙動観測
・三井Ｅ＆Ｓ　米国向け港湾クレーン＝ＢＡＢＡ準拠で安全確保
・松山港・空事務所　愛媛初、命のみなと訓練＝弓削島へ支援物資海上輸送

・内閣府　Ｒ６海洋レポート発行＝ＯＸ推進等

■令和６年９月２日号（第 1897 号）
・令和７年度概算要求　港湾関係 3142 億円（対前年度比 1.19 倍）＝国際コンテナ戦略港湾機能強化等
・港湾局　令和７年度新規要求事項＝防災関連支援制度創設等
・しげもとまもる君を励ます会＝交通運輸・観光に大きな役割
・日本全国みなと便り（18）大阪港湾・空港事務所　伊藤直樹所長「国民生活を支え、地域の競争力強化に資するみなとへ」
・港湾局　サイバーポートセミナー＝貿易ＰＦ補助金活用事例等
・港湾局　国際クルーズ受入高度化＝６年度第３回公募開始
・青森港洋上風力基地　油川地区の護岸撤去へ＝来年度に岸壁や地耐力強化へ
・能登空港　災害復旧工事の手続きへ＝滑走路・誘導路、エプロン
・横浜市　山下ふ頭再開発検討委＝緑地整備や港湾機能強化案
・横浜市　Blue Visby へ参画＝デジタルで船舶航行最適化
・東京都　東京港の脱炭素化推進＝協議会立上げ来年計画策定へ
・東北地整　潜水作業の効率・安全性＝機械化やＩＣＴの導入検討
・東北地整　浚渫土砂の有効活用検討＝改質材混合し藻場造成
・東京港　大井の冷蔵倉庫群が移転＝城南島都有地へ、来２月着工
・名古屋技調　民間技術交流会開催＝10 月８日、聴講者募集
・坂井九州地整副局長に聞く＝自然災害対応、働き方改革
・川内港　唐浜地区国際物流Ｔ整備＝水深 12m岸壁築造工事進む
・福岡市　バイオ燃料導入実証＝博多港のＣＮＰ形成
・北九州港　ＷＦ活性化方策を検討＝対岸の下関との連携も視野
・大阪港セミナー　都内で開催＝モーダルシフトへ利用呼掛け
・広島港・空　地元建設業と意見交換会＝時間外労働規制後の実態把握
・松山港　脱炭素化推進協＝省エネ、藻場創出等
・特定利用空港・港湾　新たに３空港９港湾を追加＝総合的防衛体制の更なる強化
・マリーナ・ビーチ協　プレジャーボート対策＝水域管理者らで放置艇課題共有
・海事局　自動運航船検討会を開催＝安全基準等の方向性議論へ
・洋上風力　秋田県八峰町・能代市沖＝環境影響評価準備書縦覧
・住友商事　モノパイル大手へ出資＝欧州洋上風力に対応
・第 27 回長崎サミット＝産学官でＣＮＰ議論
・ＮＥＤＯ・ＧＩ基金　浮体式の共通基盤開発＝９月中旬頃公募開始へ
・国交省　海の次世代モビリティ＝沿岸・離島地域で実証公募
・東京港　第６期コンパス実証事業＝青海４号ターミナルを追加

・海事局　２０２３年クルーズ人口＝前年比３・４倍に増加
・ダオワークス　ドローンで港湾施設点検＝港湾管理のメタバース構築

■令和６年８月 26 日号（第 1896 号）
・斉藤大臣　小中学生を大臣室に招待＝国交省こども霞が関見学デー
・国土交通省港湾局　釣り文化振興モデル港＝新たに５港を追加指定
・港湾局　技術開発課題１件採択＝荷役指示最適化技術
・日本全国みなと便り（17）釜石港湾事務所　小岩利弘所長「いわてのみなとから地域を元気に」
・ＷＦ協会　みなとまちづくりマイスター＝新たに２名就任、認定証授与
・沿岸センター　海洋・港湾構造物維持管理士＝資格試験受付中（9 月 13 日締切）
・しげもとまもる氏がメールマガジン創刊
・千葉県　東京湾沿岸海岸保全計画＝第３回検討会、津波・高潮の新たな防護高示す
・石狩湾新港　水深 12m国際物流Ｔ築造＝鋼管矢板打設手続きを公告
・伏木富山港　伏木港大橋災害復旧＝アプローチ部の擁壁改良
・茨城空港のあり方検討会＝年度末に将来ビジョンまとめ
・小名浜港湾事務所　ＪＩＣＡ研修生受け入れ＝「港湾開発・計画コース」
・三河港湾　衣浦港岸壁予防保全＝三河港神野防波堤改良
・京浜港　本牧ふ頭の機能強化＝ＣＴ一体利用へ動線把握
・名洗港　銚子沖洋上風力メンテ港＝防波堤等整備を促進中
・佐伯港　女島ふ頭水深 10m岸壁整備＝次年度以降に本体築造準備
・鹿児島港　鴨池中央港区線橋梁Ｐ１・Ｐ２＝みらい、東洋・本間ＪＶが受注
・和歌山下津港海岸　藤白護岸第３工区を促進＝第３－Ｂ工区と第１工区
・高松港　朝日地区の整備効果検討＝コンテナ岸壁の妥当性評価
・宇部港　沖の山地区水深 10m岸壁＝予防保全工事の公告開始
・業務入札結果（令和６年６月契約分）
・二港会　港湾・空港整備講習会開催＝内藤部長が管内政策説明
・洋上風力　松前沖協議会取りまとめ＝漁業への配慮求める
・環境省　輪島で浮体式洋上風力＝評価・実証事業に採択
・環境省　浮体式洋上風力導入促進＝輪島、北九州の計画策定へ
・不動テトラ　浚渫船兼起重機船「FT400」起工式＝生産性向上、環境配慮、災害対応
・不動テトラ　技術研究所でＪＩＣＡ研修＝根固ブロック研究紹介等
・清水港湾事務所　海上輸送・被災点検訓練＝御前崎～下田の外洋航行
・関西電力　北海道松前沖洋上風力＝計画段階環境影響配慮書
・日建連土木賞　三ツ子島埠頭第三桟橋＝五洋建設施工
・四経連　岸田首相に支援要請＝高知港等の防波堤改良等

・東経連　７年度政府予算へ要望＝基地港湾の支援強化等
・北九州市　第４回ＳＤＧｓ債発行＝響灘風力産業開発等

■令和６年８月 19 日号（第 1895 号）
・港湾保安機構　第 21 回通常総会を開催＝20 年の節目に感謝状表彰
・航空局　空港脱炭素化推進計画＝神戸空港、鳥取空港を認定
・日本全国みなと便り（16）苅田港「陸海空の物流ネットワークの結節点」九州地方整備局苅田港湾事務所　髙山優所長
・宮武海事局長　船舶産業の変革実現へ＝就任後初会見で抱負語る
・沿岸センター　新刊・技術マニュアル
・川崎港　港湾計画改訂で素案示す＝地港審開催、扇島に水深 14m２バース
・御前崎港　係留施設の整備方策検討＝水深 14m延長１５０ｍ延伸
・釧路港　土砂処分場２期護岸整備＝７年度から土砂受入れ準備
・横浜港　臨海部事業所協議会開催＝脱炭素化計画たたき台示す
・北開局　ｉ－Ｃｏｎ奨励賞２０２４＝港湾関係６件が受賞
・三河港湾事務所　海岸清掃奉仕活動表彰＝亀崎潮干祭保存会
・直江津港　内航フィーダー航路開設＝アジア、世界と繋がる物流拠点へ
・舞鶴港　上安久線Ａ２橋台手続き＝Ａ３橋台と繋げ土砂輸送
・平良港　漲水地区第２Ｂの舗装＝防波堤（下崎北）埠頭部改良
・平良港　来年３月に港湾計画改訂＝クルーズやＲＯＲＯ機能強化
・神戸港　航路附帯施設第７工区＝方塊ブ設置、本体工事など
・高知港海岸　湾口地区陸閘部の整備へ＝ゲート設備の製作・据付
・尾道糸崎港　三原旅客ターミナル建替＝設計プロポ１次５者選定
・工事入札結果（令和６年６月契約分）
・埋浚協会　うみの現場見学会を開催＝常陸那珂港区東防波堤築造工事
・日立造船　フラップゲートで受賞＝東洋建設と国土技術開発賞
・海技研　洋上風力などＰＴ成果発表＝浮体式や大型風車の研究等
・ＪＷＰＡ　再エネ検討委でプレゼン＝「陸上・洋上の案件加速化を」
・東京港　ＣＴオフピーク搬出入＝混雑解消へモデル事業募集
・東京都　水素実装課題解決技術＝民間の共同開発事業者募集
・大阪港　みなと緑地ＰＰＰ活用＝サウンディング結果公表
・福井県　あわら市沖洋上風力＝経済波及効果を調査へ
・東京都港湾局　晴海ふ頭で客船受入再開＝新ターミナルが年度内完成

■令和６年８月５日号（第 1894 号）
・港湾局　港湾の応急復旧が完了＝能登半島地震、今後本格復旧に着手

・スマートクルーズアカデミー　全国クルーズ活性化協議会＝大学生がクルーズ体験発表
・日本全国みなと便り（15）鹿島港湾・空港整備事務所　大谷　琢磨所長「首都圏の新たな玄関口」
・「しげもとまもる」氏　来年７月参院選選挙＝自民党から公認候補決定
・航空局　空港脱炭素化推進事業＝再エネ導入経費を支援
・国交省　能登半島地震の復旧加速＝職員増員で体制強化
・港湾統計速報＝令和６年５月分
・2024 夏季特集　安部技術参事官「港湾を巡る最近の諸情勢と重点施策」
・北陸地整　ＷＴＯ３件の災害復旧公告＝七尾港、金沢港の岸壁改良
・北陸地整　和倉温泉護岸復旧会議＝民有護岸の公有化等検討
・四日市商工会と県・市　国交省に予算確保を要望＝四日市港北ふ頭、海岸整備
・八戸セミナー2024　都内で開催＝集貨促進へ多様な輸送手段ＰＲ
・横浜港本牧　アンモニア燃料タグボートへ供給＝世界初、トラック to シップ
・東京湾口航路＝調査船を代替建造
・八代港　大築島土砂処分場整備＝受入準備へ中仕切堤促進
・高松港　朝日地区で技術検証＝次世代高規格ユニットロードＴ
・博多港　みなと１００年公園＝緑地魅力向上へ提案募集
・宮崎県　みなと緑地ＰＰＰ＝トライアルサウンディング
・防食・補修工法研　６年度通常総会を開催＝洋上風力関連で需要拡大期待
・航空局　トーイングトラクター実証＝自動運転レベル４で貨物搬送
・洋上風力　岩宇・南後志地区沖協議会＝初会合開催、６町村３漁協ら
・海事局　次世代船舶の支援策検討＝デジタル設計で生産効率化
・石コン立地協　石油コンビナートで要望＝民間護岸の整備強化求める
・福岡市　博多港でバイオ燃料実証＝20％混焼・実用化目指す
・タダノ　クレーンで洋上風力参入＝小型～大型を開発・製造
・港コン協「調査設計業務の特記仕様書作成事例と積算の考え方（2024 年改訂版）」を刊行

■令和 6 年 7 月 29 日号（第 1893 号）
・航空局　空港分野のＣＯ２削減＝第９回検討会、太陽光発電導入の活用など
・ＩＡＰＨ日本セミナー＝独・米・仏・日の港湾脱炭素化
・日本全国みなと便り（14）北海道開発局小樽港湾事務所　久保純一所長「北海道開拓の嚆矢　小樽港」
・全国クルーズ活性化協議会＝堂故副大臣に要望書手交
・港湾局・海事局　クルーズ等訪日旅客受入＝６年度第２回実施事業
・６年度第２回公募　国際クルーズ受入高度化＝清水・松山・下関を採択
・清水港　新興津ＣＴ第３バース整備＝現地着工に向け準備工事進む

・四日市港　霞ヶ浦W81 国際物流Ｔ＝８年度一部暫定利用へ促進
・関東地整　房総半島で物資輸送訓練＝銚子マリーナ、命のみなとネットワーク
・関東地整　京浜港ＣＴ搬出入効率化＝シャーシシェアリング活用法等検討
・業務入札結果（６年５月契約分）
・三島川之江港　港湾計画の検証など調査へ＝金子の水深９ｍ岸壁、臨港道
・徳山下松港　港湾施設の配置計画検討＝石炭・バイオマス需要等把握
・岩国港臨港道路　新港～立石の仕上げ舗装＝３号橋など主要構造物整う
・滋賀県　大津港の活性化・再整備＝基本構想検討会立上げ
・境港　今週に農産物混載輸送＝輸出促進拠点化目指す
・高松港　脱炭素化推進計画策定＝船舶燃料転換、水素ＳＣ
・近畿地整　堺２区防災拠点＝拡張用地の利用計画
・沖縄防衛局　那覇軍港の代替施設＝計画段階環境配慮書縦覧
・ＳＣＯＰＥ　設立 30 周年記念講演会開催＝互いにリスペクトする組織へ
・ベスタス　国内大手・中堅企業と協業＝浮体式最新機種を共同開発
・シーテック　田原・豊橋沖で洋上風力＝ハイブリッド浮体技術実証
・愛知県浮体式　大村知事を表敬訪問＝コンソーシアム５社代表
・洋上風力　北海道檜山沖協議会開催＝漁業影響や基金など説明
・洋上風力　秋田・能代で水中動画＝県が魚礁効果を調査へ
・国総研・港空研　2024 年度一般公開＝親子連れ約 800 名参加
・深日港　命のみなとネットワーク＝緊急物資輸送・救急訓練
・博多港　「かりゆしⅡ」が初入港＝那覇航路に大型ＲＯＲＯ船就航
・阪神国際港湾　「日本諸港利用促進事業」＝対象港に伊万里港を追加

■令和 6 年 7 月 22 日号（第 1892 号）
・海の日記念行事　海洋国家日本の繁栄願う＝岸田総理、斉藤大臣ら、次世代の関心深化に期待
・能登半島地震　災害廃棄物海上輸送開始＝宇出津港から姫川港へ２千 m3
・国交省　海の日海事功労大臣表彰＝港湾建設関係 19 名が受賞
・港湾局　みなとオアシス温泉津＝全国で 164 箇所目
・海事局　ＮＸ補助事業９件採択＝「強い内航への変革」
・両津港　４号岸壁の老朽化改良事業＝ジャケット式構造で耐震化
・伏木富山港　災害復旧事業に着手へ＝伏木地区の右岸５号物揚場等
・四日市港海岸　塩浜地区の陸閘・樋門改良＝代表施設対象に概略検討
・名古屋港　中空沖新土砂処分場整備＝内側中仕切護岸の締切促進
・横浜市港湾局　山下ふ頭再開発検討委＝年内に方向性取りまとめ

・関東地整　海からの災害支援検討＝千葉のマリーナ・漁港調査
・東北港湾　物流効率化を検討＝国際フィーダー利用拡大に向け
・工事入札結果（令和６年５月契約分）
・福山港　箕島地区のふ頭再編事業＝プレキャストで工期短縮へ
・兵庫県　尼西芦港の港湾計画検討会＝末広地区に複合一貫輸送Ｔ
・北九州空港　構内で用地造成工事へ＝貨物上屋増設等の利用
・近畿地整　舞鶴港で小型船利用実証＝二次交通としての利用促進
・九州地整　作業船実態把握調査へ＝ガット船等 10 船種対象
・境港防波堤　生物共生実証実験＝藻場創出方策を検討へ
・高知港海岸　湾口地区津波防波堤＝桂浜側ケーソン２函
・ＯＣＤＩ・ＪＯＰＣＡ　港湾を巡る世界の動き＝若手技術者の国際協力に期待
・東亜建設工業　船舶運航監視システム開発＝ＡＩ画像認識で 500ｍ以内検知
・経産省　第 58 回基本政策分科会＝委員ら国の積極関与要望
・東京久栄　港湾の新たな点検技術＝ドローンで桟橋劣化確認
・ＮＥＤＯ　むつで風況マスト開放＝ライダー機器の制度検証
・海事功労地整局長表彰
・国総研優良業務等表彰

■令和 6 年 7 月 15 日号（第 1891 号）
・港湾局　戦略港湾への集貨拡大＝５年度輸出入貨物流動調査結果
・港湾局　特定港湾施設整備事業＝69 港、７７６億円の基本計画
・日本全国みなと便り（12）八戸港湾・空港整備事務所　藤田純逸所長「北東北の国際物流拠点としての更なる飛躍」
・国交省　能登半島地震災害復旧＝予備費、港湾復旧に 185 億円
・港湾局　ウクライナ復旧復興支援＝第１回港湾分科会を開催
・洋上風力有望区域整理＝事業者から情報提供受付
・沿岸センター　技術マニュアル説明会＝7 月 30 日、ＷＥＢ開催
・敦賀港鞠山南　水深９ｍ岸壁複合一貫Ｔ＝ケーソン製作、事前浚渫へ
・輪島港　復旧・復興プラン検討会＝短期の復旧方針取りまとめ
・北陸地整　能登半島港湾施設復旧＝８年３月までの完了目指す
・いわて・大船渡港セミナー＝東京で開催、渕上市長がＰＲ
・成田空港　ターミナル形状の検討へ＝利便性のロングピア有力
・能登空港　権限代行で災害復旧工へ＝滑走路の基層、表層を修復
・宮古港　港湾利用方策検討業務＝港湾計画改訂視野
・中城湾港　新港地区国際物流Ｔ整備＝６年度新規事業、着工に向け諸準備を実施中
・石垣港　改訂計画を分科会で了承＝ＲＯＲＯ岸壁、海面処分場

・広島空港　滑走路端安全用地造成＝再入札でその３工事
・近畿地整　第３期大阪湾再生行動計画＝低層ＤＯの改善や漁場整備
・下関港　西山地区係留施設検討＝第２バース視野に調査
・宇部港　沖の山地区水深 10m岸壁＝予防保全事業に着手へ
・中国地整　Ｒ５コンテナ取扱量速報＝コロナ禍から緩やかに回復
・港湾協会　港湾保安特別功労者表彰＝国際港湾施設保安確保に貢献
・東亜建設工業　プレキャスト上部接合工法＝海上杭の打込み誤差を解消
・東亜建設工業　シンガポール・テコン島埋立工事＝その４工事を受注
・丸紅洋上風力　秋田沖の浮体式実証取組＝分業体制で量産化目指す
・東邦ガス　知多で水素製造開始＝水素社会に向け一歩前進
・海産研　洋上風力育成組織立上げ＝風力教育で高専と連携
・ユースエナジー　島牧沖洋上風力＝計画段階環境配慮書
・東京都　室内環境でペロブスカイト＝東芝ＥＳと検証事業実施
・サンダーバード　電化で海ビジネス参入＝電動船・陸電供給を促進
・環境省　空港脱炭素化促進事業＝ＧＰＵへの切替等を支援

■令和６年７月８日号（第 1890 号）
・港湾局　第 93 回港湾分科会開催＝石垣、横須賀、船川港改訂計画を了承
・港湾局　浮体式洋上風力官民Ｆ＝海上ＰＦで大量急速施工に
・海事局　自動運航船検討会立上げ＝少量運航実現へ制度整備
・日本全国みなと便り（11）四日市港湾事務所　堀池昌生所長「地域と基幹産業を支える強い港づくりを推進」
・港湾局　ＣＴゲート高度化を支援＝横浜港本牧、大阪港夢洲
・みなとＳＤＧｓパートナー＝登録者３０９者に
・港湾統計速報（令和６年４月分）
・高田氏がＹＫＩＰ副社長に
・国交省人事（７月２日）
・仙台塩釜港雲雀野地区水深 12m岸壁＝実施設計に伴い施工法検討
・名古屋港　飛島ふ頭東第２Ｂ整備＝陸側地盤改良、鋼管矢板等
・伏木富山港　中央ふ頭再編整備が完成＝沖待ち解消し木材ＳＣ強化
・金沢港復旧事業　飯田港、宇出津港、穴水港＝軽量土置換や矢板で前出し
・鹿島港　北公共埠頭整備検討業務＝水深 13m岸壁の事業可能性
・伏木富山港　港湾脱炭素化推進計画＝荷役機械に水素活用等
・酒田港　コンテナ貨物利用促進＝船社・荷主等を助成
・山中横浜市長　斉藤大臣へ政策提案＝横浜港ＣＴ再編整備推進等
・広島港　出島岸壁延伸が最終段階＝ケーソン築造・裏込・裏埋工

・川内港　唐浜地区水深 12m岸壁＝岸壁築造工事等が進捗
・神戸空港　エプロン５スポット追加＝万博開催需要、将来にも対応
・大分港海岸　津留地区護岸改良が進捗＝取水・排水部の鋼製壁体築造
・大分空港　滑走路の老朽化対策工＝今年度は２５０ｍ対象
・尼西芦港　尼崎３号岸壁を改良中＝床版はプレキャスト工法
・下関港　西山地区係留施設検討＝第２バース視野に調査
・博多港　香椎ＰＰの予防保全事業＝今年度は延長１００ｍ実施
・沿岸センター　５年度下期民間技術評価＝新規３件、部分変更１件、更新６件
・港空技術振興会　６年度定時総会・講演会＝港湾、空港を技術面で下支え
・マリーナ・ビーチ協　「マリーナと地域の未来」＝竹長氏招き第３回講演会
・沿岸センター　港内長周期波影響評価マニュアル＝年度内改訂に向け議論
・ＣＤＭ研究会　第 47 回通常総会を開催＝能登地震での健全性確認
・全建賞　港湾部門４件が受賞＝新潟空港橋梁、境港防波堤等
・近畿のみなとの達人総会＝成瀬氏が理事長に
・米・アモジー社　初のアンモニア燃料船＝ウーＣＥＯが都内で会見
・ＪＯＧＭＥＣ　ビューローベリタスと協定＝洋上風力案件形成加速化

■令和 6 年 7 月 1 日号（第 1889 号）
・港湾局人事　中﨑技総審、安部技術参事官＝東北局長に西村氏、箕作中国副局長、神谷北陸副局長
・防災部会 港湾の防災・減災のあり方＝能登半島地震踏まえ答申まとめ
・港湾局　サイバーポート（港湾物流）＝進捗管理ＷＧ開催、更なる拡充へ取組
・日本全国みなと便り（10）博多港湾事務所　森住直樹所長「これからもアジアへのゲートウェイとして」
・港湾局　みなとオアシスを登録＝「くまもと」と「土肥」
・潜水協会、繁本氏を推薦
・北陸地整　災害復旧工事実施準備へ＝ＷＴＯで七尾港、金沢港３件
・中部地整・三重県　津松阪港海岸整備完成式典＝斉藤大臣が出席、現地視察
・苫小牧港　周文ふ頭複合一貫輸送Ｔ＝今年度ＳＣＰ地盤改良完了
・北陸地整　災害復旧の発注見通し＝６月 12 日付合計 14 件予定
・新潟港・空　国際海上コンテナ実証＝東港ＣＴ貨物の鉄道輸送
・秋田県　船川港港湾計画改訂へ＝洋上風力Ｏ＆M拠点整備等
・東京都　国施策・予算へ提案要求＝Ｙ３整備、ＣＮＰ推進支援
・和歌山下津港海岸　藤白護岸第３工区整備へ＝初弾の第３－Ｂ工区手続き
・舞鶴港　和田地区第２バース築造＝床掘、暫定高まで捨石工事
・名瀬港　１号岸壁を撤去、再編へ＝前出しで新バース構築

・近畿地整　次世代海洋環境整備船＝動力源に低炭素型検討
・中国地整　管内港湾の災害対応方策＝広域連携ＢＣＰ検討等
・阪神港の物流効率化　近畿地整がプロポ手続き＝ＣＴゲート運用連携
・港コン協　第 14 回定時総会開催＝災害時包括協定全国展開
・ＰＩＡＮＣ日本部会　第 51 回通常総会開催＝栗山氏が新会長に就任
・作業船協会　第 76 回定時総会開催＝作業船の意義を再確認
・若築建設　地盤改良の地中部可視化＝ビデオコーン貫入試験器を開発
・東洋建設ら　フィリピン河川改修の受注内定＝パッシグ・マリキナ川
・東洋建設　本部安全衛生推進大会＝安全維持、魅力ある建設業に
・洋上風力　男鹿・潟上・秋田市沖＝漁業影響調査検討委員会立上
・環境省　港湾脱炭素化公募開始＝船舶電力供給・荷役機械
・水中ドローン協会　清水港でＲＯＶデモ＝Ocean Biz2024（7/17・18）
・東洋建設人事（７月１日）
・五洋建設人事（７月１日）
・あおみ建設人事（７月１日）